

キャラクター名  
キアラ

プレイヤー名

種族	エルフ	種族特徴	暗視、剣の加護/優しき水		
生まれ	操霊術師	性別	女	年齢	教えねえよ
冒険者Lv	16	経歴	大恋愛をしたことがある		
経験点	1850		奇妙な予言をされたことがある 邪神の供物に選ばれてしまった		

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	5			14	2
体	4	敏捷度	8			17	2
		筋力	1			5	0
心	13	生命力	6			10	1
		知力	10	99		122	20
		精神力	8	23		44	7

技能	Lv.	技能	Lv.
コンジャラー	16		
セージ	6		
アルケミスト	16		

戦闘特技			
ルーンマスター	IB34 p		p
鋭い目	2120p		p
魔法収束	IB39 p		p
魔法拡大/数	IB39 p		p
賦術の極意	IB31 p		p
武器習熟A/スタッフ	IB31 p		p
連続賦術	IB32 p		p
クリティカルキャスト	IB36 p		p
賦術強化	IB31 p		p
マリオネット	IB38 p		p
カード軽減	IB29 p		p

言語	会話	読文
エルフ語	○	○
交易共通語	○	○
神紀文明語		○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	○
妖精語	○	
シャドウ語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
ヴォーパルウェボン	ディバイトマテリアル
クラッシュファンク	マテリアルブレイク
バークメール	
パラライズミスト	
ミラージュディズ	
アーマーラスト	
イニシアティブブースト	
ヒールスプレー	
ビビッドリキッド	
コンセントレーション	
バインドアビリティ	
マナダウン	
リーンフォース	
コンバインマテリアル	

名誉アイテム	点数
名誉点 所持 0 /合計 0	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	マナコートプラス	1		8
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能		合計値	0	8

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12																
マナスタッフ	2H	3	1	2d+	1	12	1	13																
魔力+1、魔法の武器				2d+																				
				2d+																				

一般装備品	(消耗チェック)
マテリアルカードBx20	○□□○□□
マテリアルカードAx10	○□□○□□
マテリアルカードSx5	○□□○□□
マテリアルカードSS	○□□○□□
魔化された岩x5	○□□○□□
魔化された青銅x5	○□□○□□

魔化された鉄x3	○□□○□□
琥珀の目x2	○□□○□□
魔晶石10点x3	○□□○□□
	○□□○□□
	○□□○□□
所持金	-315300
預金・借金	G

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	17 m	51 m	2d+	0	8

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
操霊魔法	16	38			

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+	27	2d+	0	92

装備品	説明
頭 とんがり帽子	魔物知識判定+1
耳	
顔	
首	
背中	
右手 信念のリング	精神抵抗力判定+1
腰	
足	
その他アルケミーキット	

装備品	説明
左手 マナリング	魔法の発動体、魔力+1

その他メモ	自動失敗チェック
とある街にある冒険者ギルドに併設する酒場を切り盛りするマスター。口の悪い彼女が作り出す料理は絶品で、リピーターも多い。性格は非常にざっくばらんでさっぱりしており、酒場で多々起こるいざこざも雑にあしらっては必殺技である出入り禁止を言いつけるなど意外にも怖いもの知らず。しかし残念な程に非力で、喧嘩を売られると全速力で逃げる。若しくは操霊魔法で反撃する。本人は面倒ことは嫌いなのだが酒場のマスターという立場上、仕方なく面倒ことに首を突っ込むことも。本気の乱闘騒ぎになると旧知の仲であるイザベルに仲裁を依頼するなど彼女のことを全面的に信頼している。	○□□□⑤ ○□□□⑩ ○□□□⑱ ○□□□⑳ ○□□□㉑ ○□□□㉒ ○□□□㉓ ○□□□㉔ ○□□□㉕
かつて蛮族の王が召喚した進行軍を打ち倒した英雄のひとり。幼少期に「敵を倒した金で将来がウハウハになる」という胡散臭い上に奇妙な予言を受けたが真に受けず、占ってきた相手を魔法で追い返した。同時期に類稀なる魔力に惹かれた邪神に見初められ供物に選ばれてしまった。その邪神から逃げる途中でイザベルに出会い、彼女の使命に同行することに。理由すら聞かず同行を許可してくれたイザベル心奪われ、同性である壁にぶち当たりながらも激しい恋愛感情を抱くが拒絶されることを恐れて好き仲間のひとりを演じ切った。現在でも彼女にそう言った感情を抱いているが、その感情は墓場を持っていくつも	